

比較家族史学会

比較家族史 22

事務局 〒101 東京都千代田区神田駿河台1-7 弘文堂気付

比較家族史学会 第二五回研究大会

テーマ 戸籍と身分登録  
日時 六月十日(金)・十一日(土)  
場所 青山学院大学総合研究所ビル  
(正門横) 十一階

住所 東京都渋谷区渋谷四一四一二五

■一日目(十日)

□会長挨拶 江守 五夫  
自由報告

・富山県の一山村におけるつまどい婚 10:10  
濱 久年(第一書房)

・十六ー七世紀イギリスにおいて検認された  
遺言状の数 10:45  
高橋基泰(東北大学)

・近世農民の家族経歴ーそのコーホート間・  
地域間比較 11:20  
藤見純子(大正大学)

・嶋崎尚子(放送大学)

テーマ報告

・アメリカにおける身分登録制度 13:10  
棚村 政行(青山学院大学)

・スイス・オーストリアの身分登録制度 13:45  
松倉 耕作(南山大学)

・イギリスにおける出生・婚姻・死亡登録制度と  
センサスー十六ー十九世紀 14:20

安元 稔(駒沢大学)

・ドイツ統一国家の形成と民事身分登録制度  
14:55  
若尾 祐司(名古屋大学)

□休憩 (15:30ー15:50)

・韓国戸籍制度の発達 15:50  
崔 弘基(ソウル大学)

・中国元朝治下の戸籍制度ー徭役制度との統合  
16:25  
大島 立子(愛知大学)

・日本古代の戸籍について 17:00  
南部 昇(北海道大学)

□懇親会(青山学院会館)18:00から

■二日目(十一日)

・「人的移動」の把握と宗門改帳 10:00  
神谷 智(日本福祉大学)

・人別帳からみた縦断的世帯分析 10:35  
正岡 寛司(早稲田大学)

・近代ー戸籍制度の確立と家族の統制 11:10  
二宮 周平(立命館大学)

・現在の戸籍制度の現状と問題点 11:45  
下田 文男(法務省)

□総会(13:30ー14:00)

□シンポジウム(14:00ー17:00)  
司会 利谷信義(代表)

運営委員

平松紘(委員長)・棚村政行・嶋崎尚子

## ■研究大会のテーマについて

戸籍（宗門改帳などを含む）と身分登録は、一定の権力が人々を掌握するときの、あるいは出生・婚姻（あるいは縁組）・死などの身分移動を把握するときの二つの方法・手段であるといえるであろう。戸籍は東アジアを中心と発展してきた制度であるのにたいし、身分登録はヨーロッパを中心として発展してきた制度であるといえる。

このような戸籍や身分登録が、いつ、誰によって、どのような人あるいは集団を単位として、どのような目的で、どのような事項を記載して作られたものであるか、またどのように機能したかは、それぞれの地域・時代のなかで比較・検討されなければならない。

と同時に、一定の権力が人を掌握する二つの方法・手段がそれぞれ歴史的にどのような展開し、今日に至ったものであるか、また戸籍のように、家族あるいは家を単位としてそれが編成されているとすれば、戸籍と家族あるいは家との関連が問われなければならないであろうし、また個人を単位とした身分登録を採用した地域のなかでは家族あるいは家を掌握する必要がなかったのか、という問題も生じる。

さらに、過去に作成された戸籍簿や身分登

録簿から何がわかるのか、いわば過去の家族の「復元法」の問題（それが可能であるかどうかという問題も含めて）とも関係することになるであろう。

また、現在の現行の戸籍制度に関しては多くの議論がなされている。戸籍への記載事項や戸籍のコンピュータ化の問題あるいは夫婦別姓との関連など、現状をめぐる問題点と課題もシンポジウムのなかで問われることになるだろう。

## ■研究大会資料

研究大会に関する参考資料を会報に掲載することになりました。報告の骨格及び参考文献を掲載していますが、報告時においては変更されることもあります。

・松倉耕作「スイス・オーストリアの身分登録制度」

- 1 はじめに
- 2 身分登録に関わる組織
- 3 身分登録簿
- 4 おわりに

文献：「スイス身分登録令（条文訳）」『南山法学』十六巻一・二合併号（一九九二）；「スイス新婚姻法の概要（1）（2）」『判例タイムズ』六一九・六二八号（一九八六）；「オーストリアの新身分登録法」『南山法学』九巻四号（一九八六）；「オーストリアの身分登録

法施行令」同一六巻三・四合併号；「オーストリア家族法・相続法」（信山社・一九九三）  
・二宮周平「近代―戸籍制度の確立と家族の統制」

- 1 戸籍制度の確立課程
- 2 身分証書制度の崩壊
- 3 戸籍制度と家制度
- 4 戦後改革で積み残したものの

文献：「これからの家族法と戸籍制度」『法律時報』六五巻一二号（一九九三）；「戸籍・住民票の統制記載と非嫡出子差別」『谷口知平先生追悼記念論文集―家族法』（信山社、一九九二）

・大島立子「中国元朝治下の戸籍制度―徭役制度との統合」

- 1 宋代戸籍と元代戸籍の相違
- 2 元代戸籍の形態と徭役制度
- 3 元朝政権の漢人支配の理念
- ・安元 稔「イギリスにおける出生・婚姻・死亡登録制度とセンサス―一六一―一九世紀

- 1 はじめに
- 2 教区登録制度
- 3 民事登録制度
- 4 センサス
- 5 結びにかえて

文献：「イギリスの人口と経済発展―歴史人類学的発展」（ミネルヴァ書房・一九八二）  
「リグリー・スコフィールド」『イングランドの人口史、一五四―一八七二、一つの復元」に

寄せて「経済学研究」三四卷四号（一九八三）；  
 「一七世紀から一八世紀ヨーロッパの人口変動」  
 『世界史への問い』歴史における自然（岩波書店・一九八九）；「Industrialisation, Urbanisation and Demographic change in England', The University of Nagoya Press, 1994.

・崔 弘基「韓国戸籍制度の発達」

- 1 韓国戸籍制度の発達過程
- 2 韓国戸籍制度の機能の変化
- 3 韓国の戸籍と家族―親族研究

文献：『韓国戸籍制度史研究』（ソウル大学校出版部・一九七五）、（参考）武田幸男「韓国戸籍台帳の基礎的研究」一九八三、学習院大学東洋文化研究所

・若尾祐司「ドイツ統一国家の形成と民事身分登録制度」

- 1 前史Ⅱ一八四七年プロイセン緊急民事婚への道程
- 2 一八四八年革命と強制民事婚の問題
- 3 統一国家形成と民事身分登録制度の確立

文献：「ドイツ統一国家の形成と婚姻の世俗化」『名古屋大学研究論集』一〇七号（一九九〇）

・神谷 智「人的移動」の把握と宗門改帳

- 1 宗門改制度及び宗門人別帳の歴史的性格をめぐる争点と問題点
- 2 「人的移動」の把握の歴史的性格の変化と宗門人別帳―尾張藩を事例として

文獻：「近世前期の尾張藩知多郡小鈴谷村宗門改帳」『知多半島の歴史と現在』五号

・南部 昇「日本古代の戸籍について」  
 文献：『日本古代戸籍の研究』（吉川弘文館、一九九三）

・棚村政行「アメリカにおける身分登録制度」  
 アメリカにおける身分登録の編成原理・登録方式と実質的機能、身分登録制度の利用とプライバシー保護などの問題を検討する。

運営委員会からの連絡

- 1 出欠のハガキは五月末日までにご投函ください。
- 2 当日の参加費は、一、〇〇〇円です。
- 3 弁当の準備はいたしません。近くのレストラン・学内の食堂をご利用ください。
- 4 懇親会費は五、〇〇〇円です。
- 5 青山学院大学近くのホテルは次の通りです。

東京青山会館（三四〇三一―五四一）・渋谷東急イン（三四九八一―〇九）・東部ホテル（三四七六一―〇一一）・サンルート渋谷（三四六四一―六四一）・ホテル シャンピア（三四〇七一―二一一）・ニューワシントンホテル（三四六〇一―七〇一）

- 6 連絡先は次の通りです。  
 〒一五〇 東京都渋谷区渋谷四一四―二五

〇三一三四〇九一八一―（代表）

青山学院大学

事務局からのお知らせ

- 1 一九九四年度の会費の納入のお願い  
 去る一月の郵便料金の値上げは、学会財政を直撃しています。直ちに会費の値上げをす  
 るという訳ではありませんが、よろしくお願  
 いたします。

なお、会費振り替えよう口座が五月から次のように変更になりますが、当面は従来の口座番号もそのまま使うことができます。

元口座番号 東京3125222  
 新口座番号 0013014125222

- 2 「事典 家族」について

四月下旬か五月上旬に執筆依頼を発送いたします。前にお知らせした時期に比べ遅れていることお詫びいたします。原稿の締切は一〇月下旬です。一九九五年度中の刊行を目標としていますのでよろしくお申し込み願います。

- 3 「シリーズ比較家族」の刊行について

シリーズ比較家族は三巻まで刊行しています。第四巻も学会までには刊行される予定です。前回申込用紙を同封しました。会員は

定価の二割引です。申込用紙をなくした方は、  
会員である旨を記入の上、ハガキでお申し込  
みください。

申込先：〒一六九 東京都新宿区戸塚町一

一〇三 早稲田大学出版部

第一巻 家と家長制

第二巻 家族と墓

第三巻 縁組と女性

第四巻 家と教育

4 「比較家族史研究」について

比較家族史研究の在庫の一部(五〇部)を  
弘文堂から学会に移管し、学会で比較家族史  
研究を販売します。ただし、大学などの研究  
機関からの定期購読を受け付けていますので、  
必ずしも在庫が豊富であると言うわけではあ  
りません。バックナンバーが必要な方は、郵  
便振替用紙に必要な号数をご記入の上お申し  
込みください。定価・送料は次の通りです。

- 第一号 一、五〇〇円(一、二〇〇円)
  - 第二号 一、五〇〇円(一、二〇〇円)
  - 第三号 一、五〇〇円(一、二〇〇円)
  - 第四号 一、五四五円(一、二〇〇円)
  - 第五号 一、八〇〇円(一、四四〇円)
  - 第六号 二、二〇〇円(一、七六〇円)
  - 第七号 一、八六〇円(一、四四〇円)
  - 第八号 二、〇〇〇円(一、六〇〇円)
- (一) 内が会員販売価格  
送料 一冊 二四〇円(ただし六号及び八号

は三一〇円)・二冊 三一〇円・三冊 三八〇  
円・四冊以上六冊まで 四五〇円 七冊以上  
五二〇円

郵便振替 口座番号 東京81604964

五月から口座番号が次のように変更になりま  
す。

00180131604964

▼▼幹事会議事録▲▲

日時 一九九三年十一月五日

場所 仏教大学鷹陵館

1 新入会員の承認

2 「比較家族史研究」第八号の進捗状況

- ・初校段階であり、十二月末には刊行予定
- ・百部定期購読があると財政安定
- ・販売のため各大学や図書館の住所を入力

3 今後の研究大会予定

- ・第二五回研究大会(青山学院大学)  
テーマ 戸籍と家族(仮題)  
日程 九四年六月十・十一日
- ・第二六回研究大会(橘女子大学)  
テーマ 女性史と女性学の現状・問題点  
と総括①
- ・第二七回研究大会 未定
- ・第二八回研究大会(福岡市と共催)

テーマ 女性史と女性学の現状・問題点  
と総括②

4 シリーズ家族史について

第一期

「縁組と女性」十一月中刊行予定

「家と教育」初校が出始めた状況

第二期

「家と屋敷地」原稿が集まりつつある状況  
「家族と地域」出版決定段階

5 日本学術会議

- ・会員候補者の選挙人  
基礎法学(2人) 水林・森  
社会学(1人) 森岡氏へ一任
- ・運営審議会報告
- ・女性科学研究者の環境整備についての要  
望書
- ・生命科学について  
尊厳死について
- ・民事判決原本廃棄の中止の要望書を最高  
裁判所事務局長に発送

6 事典「家族」について

- ・弘文堂辻浦氏からの経過報告
- ・執筆要項についての検討
- ・地名や人名表記と原綴の位置：牽引にフ  
ルネームの原綴を記載

人名は原則的に統一  
地名は現在の地名を各執筆者が調べる  
・スケジュール

「家と教育」初校段階  
・第二期  
新しく契約

福岡女性まつりのオーブニング  
女性史と女性学の現状・問題点と総括②

### 名簿の訂正・変更・新入会員

九三年一二月執筆依頼  
九四年七月原稿締め切り予定  
編集委員会がチェックし書き直し等の検討  
九五年度刊行予定

3 事典家族の進捗状況  
・今月中に執筆依頼  
九四年七月締切  
九五年度中に刊行予定

青柳和身(変更・一頁)

九州国際大学

・原稿料  
3%編集費  
原稿料の一部を学会に組み入れる  
原稿料の支払い時期は原稿がはいつて計算  
終了後(ただし、例外もある)

4 年報八号進捗状況  
会員名簿と同時に発送予定

飯沼賢司(移転・二頁)

・項目選定:完了  
・図版写真:今後検討  
・統計:出所を明らかにする

5 学術会議について

梅村佳代(変更所属・六頁)

・遺伝子に関する問題の要望  
が取れない状況

・民事判決原本の廃棄中止を申し入れ  
8月2日付 会報に記載

奈良教育大学

7 その他

・女性科学研究者の環境整備の要請  
選任ではなく非常勤が圧倒的、科学費

浦本寛雄(訂正電話・六頁)

・家族に関する資料集

・女性科学研究者の環境整備の要請  
選任ではなく非常勤が圧倒的、科学費

小島 宏(変更・一三頁)

## ▽▽第二四回総会△△

6 今後の研究大会について

嶋崎尚子(変更所属・一六頁)  
放送大学

日時 九三年十一月七日  
場所 仏教大学

・第二五回研究大会について  
九四年六月十・十一日 青山学院大学  
運営委員は平松・棚村両氏

野村育世(訂正・二六頁)

1 前会長大竹氏の勲三等 賞受賞報告

森 謙二(訂正追加・三三頁)

2 シリーズ家族史刊行状況

・第二六回研究大会  
九四年十月二七〜二九日頃 橘女子大学  
女性史と女性学の現状と問題点と総括①

・第一期  
『女性と縁組』十一月刊行予定

・第二八回研究大会  
九五年十月 福岡市と共催 市民に開放

飯村富美子(訂正・三七頁)

専門分野 村落生活史  
 宗田由美子→早田由美子(訂正・三七頁)  
 読み はやたゆみこ  
 (変更所属) 甲子園短期大学  
 事務局住所(訂正・三九頁)

濱 久年(追加・新入会員)  
 読み はまひさとし

専門 民俗学 地域 時代 近代→現代  
 所属 第一書房  
 植野弘子(住所変更・五頁)

### 会員通信

有地 亨「家族が変わったか」有斐閣選書  
 一九九四 二、〇六〇円  
 布村一夫「正倉院籍帳の研究」刀水書房 一  
 三、〇〇〇円  
 加藤美穂子「中国家族法の諸問題→現代化の  
 道程」敬文堂一九九四 五、〇〇〇円  
 北原淳・大野道邦編(長谷川善計退官記念論  
 文集)「社会学→理論・比較・文化」見洋書房、

一九九四 三、〇〇〇円  
 神戸大学社会学研究会「社会学雑誌」一一号  
 (長谷川善計教授退官記念号)一九九四、一、  
 二〇〇円(長谷川善計会員の略歴・著作目録  
 を掲載)  
 総合女性史研究会「日本女性の歴史→文化と  
 思想」角川書店 一、五〇〇円  
 林玲子「日本の近世→五卷 女性の近世」中  
 央公論社、一九九三 二、八〇〇円  
 奥山恭子・角川正樹「ラテンアメリカ 子ど  
 もと社会」新評論 一九九四 三、五〇〇円  
 奥山恭子・三田千代子「ラテンアメリカ 家  
 族と社会」新評論 一九九二 三、二〇〇円  
 田端泰子「日本中世女性史論」塙書房一九九  
 四 四、七三八円  
 浦本寛雄「破綻主義離婚法の研究」有斐閣一  
 九九四 七、九〇〇円(尾中郁夫・家族法学  
 術賞受賞)  
 湯沢雅彦「小さな家族論」クレス出版 一九  
 九四 二、二〇〇円  
 ミッテラウアー(若尾祐司・服部良久・森明  
 子・肥前栄一・森謙二訳)「歴史人類学の家族  
 研究」新曜社一九九四 四、七三八円  
 北條浩「日本近代林政史の研究」お茶の水書  
 房 一九九四 六、四八九円  
 岩本由輝「東北開発→二〇年」刀水書房 一  
 九九四 二、四七二円

□この欄は会員の最近の著作など(単行本で  
 必ずしも家族の領域に限定していません)を

紹介するものです。原則として会員の申告に  
 よって掲載しますが、事務局で知り得たもの  
 は挙げることにしています。

